

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 7月26日更新

事務事業名		ハンセン病啓発事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	西川正則
	施策	21	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	塩地由梨
	基本事業	71	人権尊重についての理解の促進			所属班	啓発教育班	(内線)	2427
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 8	事業連番 10860	法令根拠	成果優先度評価結果	①
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 9 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	ハンセン病問題を正しく理解するための人権啓発事業である。ハンセン病を正しく理解する週間に合わせて、講演会等の催しを実施する。具体的には、講演、パネル展示などを実施している。平成8年の「らい予防法」の廃止を受け、平成9年、町民のハンセン病問題に対する正しい知識の普及・啓発と、また、療養所入所者と町民との相互交流をより進めていくために開始した。取り組みを始めた頃に比べると、市民のハンセン病問題に対する理解は深まってはいるが、平成20年11月の市民アンケート調査からも菊池恵楓園を知らない人が多く、市民に対する理解と啓発を進めていく必要がある。
(開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①事業内容、日時、場所等の検討と決定。 ②講師依頼と展示物等の手配。 ③広報、ホームページで講演会開催の周知を図る。(各団体等へ開催案内送付) ④講演会等の実施 ⑤アンケート等の実施。 ⑥アンケート結果の解析。
【主な予算費目】	報償費、需用費、役務費
【意見や要望】	議会からは、「市内事業所に対しての啓発方法を工夫すべき。」「講演会だけでいいのか、再考の余地がある。」との意見がある。 菊池恵楓園入所者自治会からは、本事業を開催していくことを要望されている。 アンケートでは、「このような講演会があれば、また参加したい」との声がたくさんある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部分(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
ハンセン病問題講演会 6月5日(土) ヴィーブル文化会館にて午前開催した。 講師 姜 信子さん(作家) 演題 「ハンセン病、封じられた記憶の島々を訪ねる旅 ～「ライは長い旅」ならば、われらの旅もまた・・・」 参加者 428名	ハンセン病問題啓発事業講演会 6月3日(金) 午後7時30分開演 ヴィーブル文化会館 講師 井上佳子さん(RKK熊本放送テレビ制作部ディレクター) 演題 「内なる差別性を問う ～ドキュメンタリー取材の現場から～」
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 講演会等の開催回数	回
イ 参加者数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
市民	→ ア 人口 人
市内事業所社員	イ 市内従業者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
ハンセン病問題を正しく理解してもらう。	→ ア 正しく理解した参加者の割合 %
	イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 参加者にハンセン病問題を正しく理解してもらうことが意図のため。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
① 活動指標	ア 回		1	1	1	1	1	1	1		(期間限定複数年度のみ記載) 0
	イ 人		276	516	450	419	350	350	350		
	② 対象指標	ア 人		54,400	54,600	55,000	55,500	55,500	56,000	56,000	
イ 人			18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000		
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100		
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	103	183	223	214	214	210	210	
人件費	(A) 事業費計	千円	103	183	223	214	214	210	210		
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	(B) 人件費計	千円	840	1,512	796	865	824	824	824		
トータルコスト(A)+(B)		千円	943	1,695	1,019	1,079	1,038	1,034	1,034		

事務事業名	ハンセン病啓発事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	人権啓発教育課
-------	-----------	-----	-------------	-----	---------

2 評価の部 (SEE)

*原則は22年度事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 参加者のアンケートからも理解の促進が図られていることがうかがえる。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 本年度も各団体に対し、参加依頼を行う。また、広報誌等により市民に参加を呼びかけていく。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 参加者の理解促進は図れているので講演会における成果は満たされているが、開催内容を検討し、さらなる参加者数の向上を目指す。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 啓発事業を推進するうえでは、最小限の事業費であり、これ以上の削減はできない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本事業にも、職員は、少人数で対応しており、内容、講師の設定、他のイベントとの日程の調整に時間を要している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民全般に事業への参加を呼びかけており、また、すべての市民がハンセン病を正しく理解することが必要であるため、本事業を開催することは、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 人権問題の啓発は行政の責務であり、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

参加者数が前年度より減少した。より多くの市民に参加を呼びかけ、ハンセン病を正しく理解できるような内容を検討していく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 事業内容等全般を再度検討し、より多くの市民に参加してもらうようにする。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 講演会講師の選定に苦慮している。このまま講演形式でよいのか検討する必要がある。																						